

## 平成31年度 第2層平鹿地域協議体 「ひらか支え愛ねっと」の取り組み

### ○構成員

町内会長、民生委員、福祉協力員、ボランティア活動者、いきいきサロン代表世話人、婦人会、地区会議、JAたすけあい組織、商工会女性部、交流センターなど（15名）

### ○定例会開催回数

平成28年度…2回、平成29年度…9回、平成30年度…9回、令和元年度…7回

### ○生活支援協議体(協議体)の取り組み

「交流機会の減少」や「気軽に通えるつどいの場の不足」などの課題を解決するため、地域の様々なつどいの場の情報をまとめたポスターを作成し、敬老会などの住民が多く集まる機会に合わせて掲示した。また、つどいの場づくりを協議体がサポートすることについてチラシにより周知し、つどいの場への参加促進や新たなつどいの場の誕生につながるよう取り組んでいる。なお、つどいの場が必要との声が多い地域に対しては、町内の役員会などへ訪問しながら、地域の方々と一緒につどいの場づくりの検討を行っている。

#### 《主な取り組み》

#### ①協議体やつどいの場をポスターにより周知

「隣近所と顔を合わせる機会が少なくなった」「健康への心配がある」との声が多いことから、社会参加を通じた介護予防や住民同士のつながりが深まるように、地域行事の機会などに合わせて様々なつどいの場をポスターにより周知した。



～敬老会でつどいの場を周知～

#### ②地区交流センターに関する構成員勉強会

社会参加の機会を地域に広げていくために、住民主体の交流活動の推進や地域課題の把握などを行う地区交流センターの取り組みを学ぼうと、構成員勉強会を開催した。また、協議体と交流センターの相互の取り組みを共有し連携強化を図った。



～構成員勉強会の様子～